

発行者：

東京大学 GCOE

都市空間の持続再生学の展開

東京大学大学院都市工学専攻

環境デザイン研究室

〒113-8656 東京都文京区

本郷7-3-1 工学部8号館7F

## 集落の中心に集い、安全なまちをつくる、蒲崎地区のこれから

7月8日、岩沼市仮設住宅東集会所において、これからのまちを考えるワークショップが行われました。蒲崎地区のまちづくりに関しては、右記のようなプロジェクトが提案されました。また、自然エネルギーの利用、電柱の地中化など、これからの大きな方針を決めるだけでなく、実際の地図の中に自分たちがどのように住むかについても検討がなされました。まず、これまで行われたワークショップを反映して作成された図面の上に、敷地面積、建物の大きさなどを落としました。その上で、集会所を真ん中にしたい、宅地の高くしたいなどの具体的な意見が多く出ました。最終的に、将来住民の方々が住むまちについて、より現実的に考えることができ、これまでよりも鮮やかにそのまちについてイメージすることができ、迫力のあるワークショップとなりました。



写真：ワークショップの様子

### 蒲崎まちづくりプロジェクト

1. 自然エネルギーを活用する（ソーラーパネル）
2. 電柱地中化
3. みんなが安全に歩ける道路（ミラーをつける）
4. 集会所をまん中に
5. 皆が健康で元気に暮らせるまち（医療施設をつくる）
6. お年寄りから子供まで皆が使える公園のあるまち
7. 安全なまち 防犯（駐在所）
8. 少しでも宅地が高くなるように



図：蒲崎地区の暮らし（震災前）

この内容は、岩沼市玉浦西地区まちづくり検討委員会に反映される予定です。